

バイオ燃料で地球温暖化を防ごう

バイオ燃料の普及やバイオスタウン構築の促進を図り、地球温暖化を抑制しようと、沖縄バイオマス発見活用協議会（上野正実座長）は「バイオ燃料キャラバン」として2月25日、サトウキビから作られたE3ガソリンを使用した車で、町役場を訪れました。新城俊也事務局理事長は「エネルギーが乏しい沖縄では、地域循環型社会を構築すべき」と訴え、上間町長は「バイオ燃料の有効活用など、地球環境に優しいバイオスタウンを目指したい」と話していました。



建築士会浦添・西原支部がさわふじを寄贈

創立30周年を迎えた(社)県建築士会浦添・西原支部(内田栄司支部長)から、地域の自然や都市環境の向上に資することを目的に、さわふじ3本が贈られ、町立図書館敷地内に植樹されました。2月25日、記念植樹寄贈式が行われ、内田支部長は「30周年を迎えられた感謝の気持ちを込め、町花木のさわふじを寄贈した。花を咲かせて町民の方に喜んでほしい」とあいさつしました。



NTT西日本沖縄支店が「電話お願い手帳」等を寄贈



れる送信用紙「ふれあい速達便」10冊が、町に寄贈されました。古堅支店長は「地域貢献にねざした企業を目指し、このような社会貢献活動を続けていきたい」と話していました。手帳や速達便が必要な方は、町社会福祉協議会までご連絡下さい。



2月25日、NTT西日本沖縄支店(古堅一成支店長)から、耳や言葉の不自由な方が外出先で電話連絡等をする場合に、周りの方に協力をお願いする「電話お願い手帳」10冊と、簡単にFAXが送

まちの話題

乗合タクシー・バスの本格運行を断念



3月12日、「第3回町地域公共交通会議」が町役場で開かれ、昨年9月～11月に実施された「乗合タクシー・バス運行実証実験」の結果、本格運行は断念することが確認されました。会議では「地域からは、運行本数を減らしてでも本格運行を希望する声もある」という意見も出ましたが、運賃収入以上に運行経費の補てんが必要なこと、アンケートの結果、今後も大幅な利用増が見込めないことから、現状での本格運行はきびしいという結論に至りました。今後は、既存のバス路線の活用も含めて、別の方策を探ることで会議を終えました。

春高バレー県予選で西原高女子バレー部が優勝!



バレーボールの「第40回全国高校選抜優勝大会(春高バレー)沖縄地区予選大会」(2月7日～11日開催)で、西原高校の女子バレー部(平良久美子監督)が、念願の優勝を果たしました。3月16日、優勝報告と全国大会への派遣助成式が町役場で行われ、桃原早紀キャプテンは「周りのサポートがあったからこそこの優勝。喜びを全員で分かち合った。春高バレー(全国大会)でも悔いの残らないよう頑張りたい」と、優勝の喜びと大会への抱負を述べました。平良監督は「バレーをする子にとって春高バレーは目標。優勝したことで、地域の子もたちにも希望を与えたのでは」と話していました。



西原バッファローズが優勝! 横浜ベイスターズ杯で優勝!

「第18回横浜ベイスターズ旗争奪少年野球大会」(1月25日～2月11日・横浜ベイスターズ宜野湾友の会主催)で、見事優勝した西原バッファローズ(友利英明監督)が2月13日、町役場を訪れ、優勝報告しました。友利龍海キャプテンは「練習がきつい時もあったけど、優勝し、プロの野球選手からメダルをもらえて、いい気持ちだった」と喜びの表情。上間町長は「厳しい練習を重ね、優勝したことを嬉しく思う。未来のプロ野球選手が出るよう期待している」と激励しました。

給食にどうぞ! 西原産キャベツを贈呈



J A 沖縄西原支店野菜部会(当間嗣貞会長)と外間正弘支店長は2月24日、町内産のキャベツ201kgを町へ贈呈しました。当間会長は「子どもたちに町内の新鮮な野菜を食べてほしい」と話し、上間町長は「町で取れた野菜を子どもたちに提供し、安心安全な食が届けられることは地産地消にもなり、嬉しい」とお礼を述べました。同部会によると、西原町はキャベツ栽培が盛んで、年間230トン生産し、中部地区で2番目に多い。寄贈されたキャベツは、25日の学校給食で、約4200食分のコールスローサラダに使われました。



新川盛昌さんが上地流空手10段に昇段

新川盛昌さん(小那覇)は2月20日、町役場を訪れ、上地流空手の最高段「範士十段」に合格したことを報告しました。空手歴43年の新川さんは、宇小那覇に上地流西原修武館を開設したこともあり、昇段を「今からが大切」と受け止め、「元気である限り、空手を続け、今後も空手の普及・発展に努力していく」と抱負を語りました。



2月13日、「かりゆし塾地域活性化プラン報告会」(かりゆし塾同窓会・町主催)が町商工会館で開かれました。かりゆし塾とは官と民が一緒になって

かりゆし塾生が西原町の活性化プランを報告

地域活性化を考える、県経営者協会主催の地域リーダー養成塾。報告会では、宮里徳夫同塾専任講師の基調講演、西原町をテーマにした地域活性化プラン「やっぱわったー自慢の図書館でしょ!」(第16期第2班)と「ウミガメが解る・還る・変えるまちづくり西原町」(第19期第1班)が発表されました。

照屋寛輝さんがさわふじを寄贈

照屋寛輝さん(那覇市)が町花木のさわふじ16本を、町へ寄贈しました。小さい頃から西原で遊び親しんだという照屋さんは、町内に土地を購入し、10年前からさわふじを栽培。今回、成長したさわふじの木が寄贈され、2月13日、環境美化と不法投棄の防止のため、宇千原の町道沿いに植えられました。



西原マリンパークをきれいに

地域の環境美化を楽しみながらボランティア活動を身近に感じてもらうと、第2回「西原マリンパーククリーンアップ大作戦」(町社会福祉協議会・町ボランティア連絡会主催)が2月15日、同マリンパークで行われました。町内福祉団体や住民ら180名余が参加し、約2時間の清掃作業で、ごみ袋(大)の300袋分のごみや落ち葉等が集められました。

